

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-148113

⑬ Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑭ 公開 昭和63年(1988)9月29日
A 01 B 63/10		F-7804-2B	
F 15 B 11/00		D-7504-3H	
// F 15 B 21/04		A-8512-3H	審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 トラクタの油圧装置

⑯ 実 願 昭62-41369

⑰ 出 願 昭62(1987)3月20日

⑱ 考 案 者 竹 村 俊 彦 大阪府堺市石津北町64番地 久保田鉄工株式会社堺製造所内

⑲ 考 案 者 井 上 博 司 大阪府堺市石津北町64番地 久保田鉄工株式会社堺製造所内

⑳ 出 願 人 久保田鉄工株式会社 大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

㉑ 代 理 人 弁理士 安田 敏雄

㉒ 実用新案登録請求の範囲

ミツシヨンケース2の上部に油圧シリンダ4を有するケーシング3を取付け、このケーシング3にポンプ24からの圧油を油圧シリンダ4へ供給するコントロール弁13を設け、このコントロール弁13へ至る圧油供給油路25にリリーフ弁28を設け、油圧シリンダ4に連通する油路20に安全弁27を設けたトラクタの油圧装置において、

前記ケーシング3とコントロール弁13との間にスぺーサ12を配置し、このスぺーサ12に前記リリーフ弁26と安全弁27とを集中配置し、前記ミツシヨンケース2に外部からリリーフ弁26と安全弁27とを調整するための調整孔29を

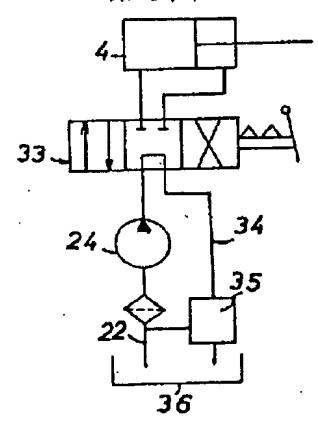
形成したことを特徴とするトラクタの油圧装置。

図面の簡単な説明

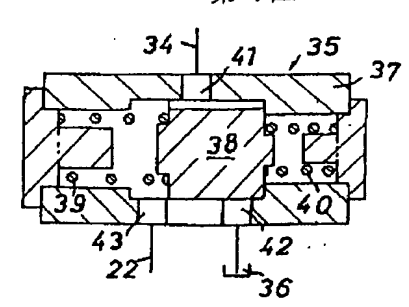
第1、2図は本考案の実施例を示しており、第1図は断面説明図、第2図は油圧回路図、第3、4図はアクチュエータの低温始動を良好にした油圧回路図を示しており、第3図は油圧回路図、第4図は循環弁の断面図である。

1…油圧装置、2…ミツシヨンケース、3…ケーシング、4…油圧シリンダ、5…シリンダヘッド、12…スぺーサ、13…コントロール弁、19…給排油路、20…安全油路、21…落下調整弁、26…リリーフ弁、27…安全弁、29…調整孔。

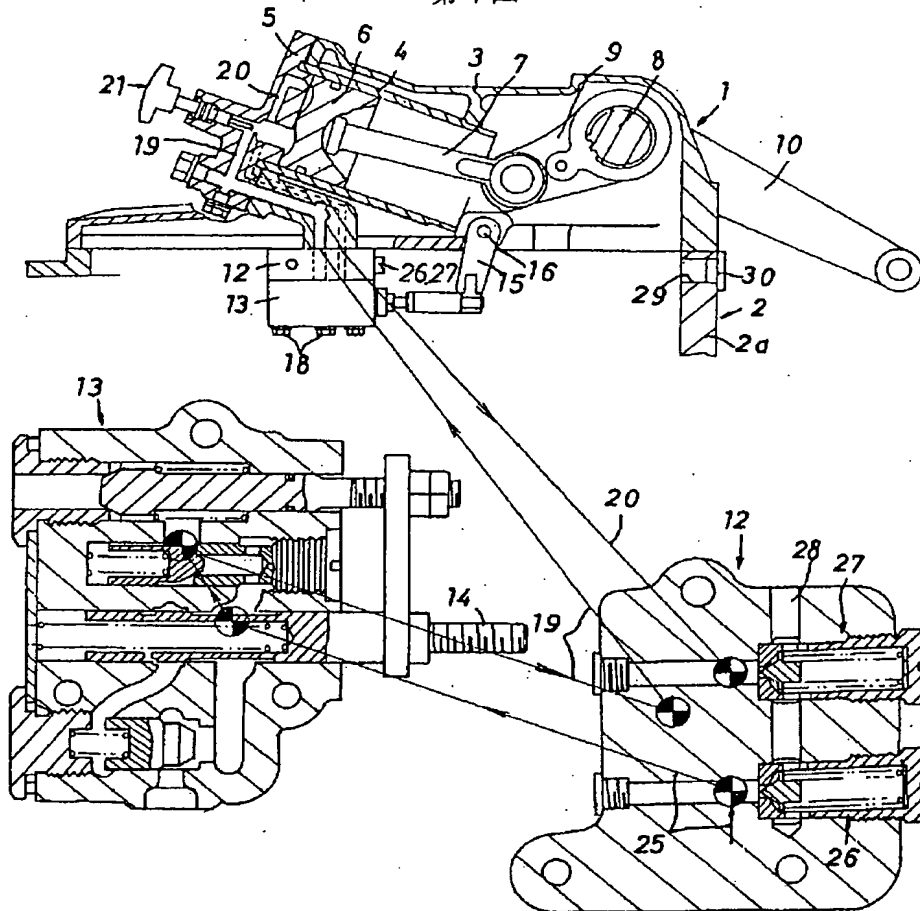
第3図



第4図



第1図



第2図

